

ウェールズ弦楽四重奏団 + 佐々木亮&横坂源&池松宏



ヴィオラ | 横溝耕一

ヴァイオリン | 崎谷直人

チェロ | 富岡廉太郎

ヴァイオリン | 三原久遠

©Satoshi Oono

Quartet Plusシリーズ 初回に続いて2度目のご登場、 ウェールズ弦楽四重奏団の皆さんにお話を伺いました。

——今回のプログラムについてご紹介ください。

三原 今回のテーマは「変奏と変容」です。まず最初は、第3楽章に美しくユーモアに溢れた変奏曲を持つベートーヴェンの弦楽四重奏曲第5番を演奏します。2曲目は、第二次世界大戦で父や弟をナチスに奪われた若き日のリゲティが書いた《夜の変容》。そしてメインプログラムには、同じ大戦でナチスに協力せざるを得ない立場だったリヒャルト・シュトラウスが終戦の年、1945年に作曲した《メタモルフォーゼン（変容）》を取り上げます。この作品は、曲の最後にベートーヴェンの交響曲《英雄》から葬送行進曲のテーマが出てきます。終戦の年に、曲の最後に葬送行進曲を置いたその心情、込められた意味——シュトラウスの作品の中でもメッセージ性が非常に強い曲です。ぜひプログラム全体を一つのストーリーとして楽しんでいただけたらと思います。

——共演は、ヴィオラの佐々木亮さん、チェロの横坂源さん、コントラバスの池松宏さんと豪華なメンバーが揃いました。

横溝 佐々木亮さんは僕たちウェールズ弦楽四重奏団がもっとも信頼・尊敬しているヴィオリストの一人で、これまでも3回共演させていただいています。今回もぜひ共演していただきたいという僕たちからの熱い要望に応えてくださいました。チェロの横坂源君は、崎谷、僕、廉太郎の3人とは高校の時の同窓生です。

特に僕は同じクラスで、「横坂」「横溝」で出席番号も隣同士で仲が良かったんです。当時から「この人上手いな」と目立つ存在でした。今回が初共演となるので今から楽しみにしています。池松宏さんはもう説明が要らないくらいのスーパー・コントラバシスト！で尊敬する方です。《メタモルフォーゼン》が大好きで、2014年に東京・春・音楽祭で共演した時にとても喜んでくださって。今回もご一緒できるのをとても楽しみにしています。

——《メタモルフォーゼン》の魅力はどのようなところでしょう。

富岡 弦楽七重奏という編成の曲は《メタモルフォーゼン》以外ほとんど無いかもしれません。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロにコントラバスが加わると、室内楽の枠を越えるというか、表現の幅がぐっと広がります。

崎谷 シュトラウスは大好きな作曲家です。ヴァイオリン・パートは難しいパッセージが随所に出てくるのですが、旋律が美しく一音も無駄がない。僕たちは戦争を経験していませんが、楽譜を読み込んで、シュトラウスがこの曲に込めた思いを演奏で表現できればと思っています。それと、リゲティ《夜の変容》もかっこいい曲なので、聴いたことがない方にも是非聴いていただきたいです！

2019 3.15 金 19時 紀尾井ホール

ベートーヴェン | 弦楽四重奏曲 第5番 イ長調 Op.18-5
リゲティ | 弦楽四重奏曲 第1番 「夜の変容」
R.シュトラウス | メタモルフォーゼン (弦楽七重奏版)



ご予約は
かんたん便利な
ウェブチケットで！

料金 S:5,500円 A:3,000円 学生A:2,000円 ペアS:10,000円 友の会ペアS:9,500円*

*紀尾井ホール室内管弦楽団定期会員も対象

取扱い 紀尾井ホールウェブチケット <http://www.kioi-hall.or.jp>

紀尾井ホールチケットセンター ☎03-3237-0061 (10-18時/日・祝休)

主催 公益財団法人 新日鉄住金文化財団* (東京都千代田区紀尾井町6番5号)

*2019年4月1日より公益財団法人 日本製鉄文化財団に改称予定



インタビューの様子は
紀尾井ホールYoutubeチャンネルでも配信中心！